

2019年2月15日

**電通グループとアドビ、「新規顧客の獲得」と「既存顧客の育成」を一本化する  
 「デュアルファネル™ソリューション」の提供で連携  
 — “社内データの統合”と“外部データとの連携”で顧客生涯価値を最大化 —**

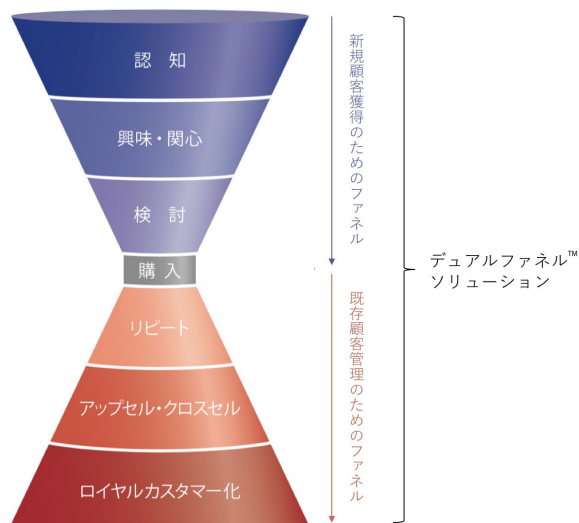
株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）、株式会社電通デジタル（本社：東京都港区、社長：鈴木 禎久）、アドビ システムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：ジェームズ・マクリディ、以下「アドビ」）の3社は、顧客企業が抱える「新規顧客の獲得」と「既存顧客の育成」という2つの課題への対応を一本化し、連携してマーケティングROIの向上を実現する「デュアルファネル™ソリューション」を提供していくことで合意しました。

具体的には、“人”基点でデータを統合する電通グループ独自のマーケティングプラットフォーム「People Driven DMP※<sup>1</sup>」（3rdパーティデータ）と、アドビのデータ管理プラットフォーム「Adobe Audience Manager※<sup>2</sup>」を通じAdobe Analyticsで計測されるオンライン行動情報やオフラインの属性情報等の1stパーティデータと連携し、従来企業において別々に設計管理・運用されてきた「新規顧客獲得のためのファネル」と「既存顧客管理のためのファネル」のデータ統合支援を行います。

この“社内データの統合”と“外部データとの連携”により、新規顧客と既存顧客に対する課題解決が同時に同じ概念上で行えるようになるため、マーケティング活動全体の最適化が可能になります。例えば、オウンドメディアでの行動データに、People Driven DMPでの行動・意識データを掛け合わせて既存顧客を分析すると、よりライフタイムバリュー（顧客生涯価値）の高い顧客像が明らかになるため、そうした顧客に絞ってアプローチするデジタル広告配信が実現できるようになります。

なお、本ソリューション提供にあたっては、電通とアドビがデータ連携と分析を行い、電通デジタルがシステム導入と広告設計・配信の運用サポートを行う体制を構築しています。

**<デュアルファネル™ソリューションの概念図>**



今後も当社グループは、さまざまなパートナー企業との連携、アライアンスを強化し、“人”基点の統合マーケティング「People Driven Marketing」を進化させてまいります。

- 
- ※1 People Driven DMP は、国内最大級のユニークブラウザのオーディエンスデータを軸に構築されています。PC やスマートフォン由来のオーディエンスデータと、テレビの視聴ログデータ、パネルデータ、購買データ、位置情報データ等を人（People）基点で活用することのできるフルファネルの統合マーケティングプラットフォームです。
- ※2 Adobe Audience Manager とは、企業が持つオンラインとオフラインのデータを統合し、ビジネス要件に合わせたオーディエンスセグメントを構築し、広告出稿やサイト内のターゲティング、最適化等を行うことができる、アドビのオーディエンス管理ソリューションです。分析ソリューション「Adobe Analytics」およびターゲティングソリューション「Adobe Target」とのシームレスな連携により、ターゲットになり得るオーディエンスを素早く発見し、的確なアクションを取ることが可能となります。

以 上

#### 【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレートコミュニケーション局 広報部  
溪、竹村 TEL : 03-6216-8041

株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部  
竜野、島津 TEL : 03-6217-6036

Email : [press@dentsudigital.co.jp](mailto:press@dentsudigital.co.jp)

#### 【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル アドバンストクリエイティブセンター  
並河、和田 TEL : 03-6217-6008